

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
I-1-(1)- ① 仕事と子 育ての両 立支援	1	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・ バランス推進事業	女性 活躍 推進 課	<p>誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を図る。</p> <p>子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合</p> <p>※「現状値」及び「中期目標」は、「元気発進！子どもプラン（第2次計画）（2015～2019年度）」掲載内容</p>	41.0% (2013年度)	目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	2013年度の 水準より増加	2013年度 (41.0%)の 水準より増加 (2019年度)	継続	9,193	8,812	維持	10,700	課長 0.30 人	係長 0.50 人	職員 0.30 人	順調	北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等により、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、上昇するように継続的に実施する。	順調	2017年8月に設立した「北九州イクボス同盟」を中心に、市内企業等へイクボスを推進し、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、今後もさらに上昇していくよう、各種支援を通じて、企業の「働き方の見直し」にかかる意識改革を一層推進していく。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
II-3-(2)- ①政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	2	⑤	⑤ ⑧	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	女性活躍推進課	性別にかかわらず職員が能力を発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを実現するため、(仮称)「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」(計画期間：2019～2023年度)に基づき、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組を実施する。	女性役職者（係長級以上）比率	15.6% (2013年度)	目標 単年度目標なし	20 %	20%	継続	3,198	3,198	維持	5,900	課長	0.10	順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。	順調	（仮称）「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム」に基づき、女性職員の能力開発やキャリア形成支援を推進していくとともに、多様な人材を活かす組織づくりを着実に実施する必要がある。 また、男女共同参画社会の形成の推進に向けた効果的な取組を実施するため、他の類似事業を取り扱う施設等との役割分担、連携、事業内容の見直しなどに取組み、地域のニーズに即した公募制の広報啓発事業などを通じて、男女共同参画社会の形成の推進に向けた広報活動を効率的・効果的に実施する。
							女性管理職（課長級以上）比率	12.0% (2013年度)	目標 単年度目標なし	15 %	15%											
							女性役職者（係長級以上）比率 (教職員、消防職員を除く)	17.6% (2018年度)	目標 単年度目標なし	23 %	23%											
							女性管理職（課長級以上）比率 (教職員、消防職員を除く)	13.6% (2018年度)	目標 単年度目標なし	15 %	15%											
3	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ダイバーシティ推進事業	女性活躍推進課	国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもって、更なる市民サービスの向上を図る。	部課長級の多面評価「イクボス10か条を実践できている管理職の割合」	88.0% (2015年度)	目標 単年度目標なし	90 %	95%	継続	3,900	4,500	増額	8,800	課長	0.20	順調	テレワークの試行実施にあたっては、実施部署を増加させるとともに、部署単位で実施する働き方見直し実践部署コンサルティング等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。 また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わりやすい職場風土の醸成も引き続き実施する。	順調	【中期目標の変更内容】イクボスに関する目標は、目標数値を90%から95%に変更した。 (目標を設定している計画が、2019年度に改訂されるに伴うもの)	
						男性職員の育児休業等取得率	2.5% (2008年度)	目標 単年度目標なし	20 %	20%												
						男性職員の育児休業取得率	14.8% (2017年度)	目標 単年度目標なし	30 %	30%												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
4	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰		男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業	男女共同参画推進課	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合 ※中期目標改訂	26.7% (2017年度)	目標 2011年度(38.7%)の水準より減少	実績 26.7%	2011年度(38.7%)の水準より減少	単年度目標なし	継続	330,163	330,272	維持	8,950	課長	0.30	順調	男女共同参画社会の形成の推進に向けたイベントや講座の開催、就業・キャリアアップ支援、相談などの事業を実施する。講座等の実施に当たっては、より多くの参加に結びつくよう、内容等の見直しや、広報・周知方法の工夫を行う。 【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が2019年度に改訂されることに伴い、中期目標の基準年度を2011年度から2017年度に変更する。		
						男女共同参画社会という言葉の認知度	69.7% (2017年度)	目標	—	80%	単年度目標なし						2017年度(26.7%)の水準より減少(2022年度)	係長			0.40	職員
5	⑤	④ ⑤ ⑩ ⑰		地域における男女共同参画推進啓発事業【男女共同参画広報・啓発事業】	男女共同参画推進課	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等が企画・実施する広報啓発活動を支援し、男女共同参画に関する理解を深める。	男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (2011年度)	目標	—	80%	継続	3,483	3,498	維持	5,050	課長	0.20	順調	若年層や男性の参加者数が増加するよう、講座や講演、イベントの開催内容や時期、PR手法等を工夫し、改善に向けた取組みを引き続き行う。 【指標追加の理由】 目標を設定している計画が2019年度に改訂されることに伴い、事業の成果がより適切にわかる固定的役割分担意識に関する指標に変更する。		
				性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合 ※指標追加	26.7% (2017年度)	目標	2011年度(38.7%)の水準より減少	実績	26.7%	2011年度(38.7%)の水準より減少	単年度目標なし						2017年度(26.7%)の水準より減少(2022年度)	係長			0.20	職員

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要な目標番号	SDGs 目標番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
II-3-(2)-② ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) の推進	6	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・バランス推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や生き方を選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、企業等の取組み支援などを行うとともに、企業や地域での様々な活動と連携しながら仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図る。	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	41.0% (2013年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	2013年度の水準より増加	2013年度 (41.0%) の水準より増加 (2019年度)	継続	9,193	8,812	維持	10,700	課長 0.30 人	係長 0.50 人	職員 0.30 人	順調	北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等により、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、上昇するように継続的に実施する。	2017年8月に設立した「北九州イクボス同盟」を中心に、市内企業等へイクボスを推進し、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、今後もさらに上昇していくよう、各種支援を通じて、企業の「働き方の見直し」にかかる意識改革を一層推進していく。 また、ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合が更に上昇するよう、しごと改革や男性職員の育児参加の推進等へ積極的に取組み、多様な人材を活かす組織づくりを着実に実施していく。
						ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合	71.6% (2013年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	85 %	85% (2023年度)	実績 70.8 %	達成率 —	課長 0.10 人	継続	3,198	3,198	維持	5,900	係長 0.40 人	職員 0.10 人	順調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。 【中期目標の変更内容】 両立しながら新たな業務等にチャレンジしたいと思う職員に関する目標は、目標数値を75%から80%に変更した。 (目標を設定している計画が、2019年度に改訂されることに伴うもの)	
両立しながら新たな業務等にチャレンジしたいと思う職員の割合	69.9% (2014年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	75 %	80% (2023年度)	実績 72.4 %	達成率 —	課長 0.40 人																
男性職員の育児休業等取得率	2.5% (2008年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	20 %	20% (2018年度)	実績 15.4 %	達成率 —	職員 0.10 人																
男性職員の育児休業取得率	14.8% (2017年度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	30% (2022年度)	実績 —	達成率 —	職員 0.10 人																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
	8	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ダイバーシティ推 進事業	女性 活躍 推進 課	<p>国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」施行など、多様な人材を活かすダイバーシティマネジメントやワーク・ライフ・バランス（働き方改革）を推進するための取組の加速などの動きを踏まえ、テレワークの実施や職場単位の業務改善など、多様な働き方の実現により、簡素で効率的な組織・人員体制をもって、更なる市民サービスの向上を図る。</p>	<p>部課長級の多面評価「イクボス10か条を實踐できている管理職の割合」</p> <p>※中期目標改訂</p>	88.0% (2015年 度)	<p>目標 単年度目標 なし</p> <p>実績 94.0 %</p> <p>達成率 —</p>	<p>単年度目標 なし</p> <p>単年度目標 なし</p>	90 %	95% (2023年 度)	継続	3,900	4,500	増額	8,800	課長 0.20 人	順調	<p>テレワークの試行実施にあたっては、実施部署を増加させるとともに、部署単位で実施する働き方見直し実践部署コンサルティング等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。 また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わりやすい職場風土の醸成も引き続き実施する。</p> <p>【中期目標の変更内容】 イクボスに関する目標は、目標数値を90%から95%に変更した。 (目標を設定している計画が、2019年度に改訂されることに伴うもの)</p>		
					<p>男性職員の育児休業等取得率</p>	2.5% (2008年 度)	<p>目標 単年度目標 なし</p> <p>実績 15.4 %</p> <p>達成率 —</p>	20 %	20% (2018年 度)				係長 0.50 人									
					<p>男性職員の育児休業取得率</p>	14.8% (2017年 度)	<p>目標</p> <p>実績</p> <p>達成率</p>	<p>単年度目標 なし</p>	30% (2022年 度)			職員 0.20 人										
II-3-(2)- ③ 性別による人権侵害行為の根絶	9	⑤	⑤ ⑩ ⑪	男女共同参画基本 計画推進事業【配 偶者等からの暴力 対策事業】	男女 共同 参画 推進 課	<p>配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力は、重大な人権侵害であることを誰もが認識し、暴力を容認しない意識の醸成のための広報・啓発を行う。</p>	<p>配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合</p> <p>※中期目標改訂</p>	71.1% (2017年 度)	<p>目標 —</p> <p>実績 71.1 %</p> <p>達成率 —</p>	70 %	単年度目標 なし	80% (2022年 度)	継続	6,966	6,444	減額	5,050	課長 0.20 人	順調	<p>DV啓発リーフレット等の公共施設等への配布を継続するとともに、効果的なPRの実施に努める。 専門的な知見を持つNPO等と連携して高校・大学等でデートDV予防教室を引き続き行う。 警察など関係機関との連絡会議の開催などによる情報の共有や交換を行う。 なお、「男女共同参画基本計画推進事業」の総額は減額になっているが、DVIに関する予算額は維持している。</p> <p>【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が2019年度に改訂されることに伴い、目標値を70%から80%に変更した。</p>		
												係長 0.20 人										
												職員 0.10 人										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
II-3-(2)- ④ 女性の活 躍推進	10	⑤	⑧	「女性活躍推進ア クションプラン」 実施及び市職員次 世代育成支援事業	女性活 躍推 進課	性別にかかわらず職員 が能力を発揮し、いきい きと活躍できる職場づく りを実現するため、(仮 称)「北九州市職員女性 活躍・ワークライフバラ ンス推進プログラム」 (計画期間：2019～2023 年度)に基づき、職員の キャリア形成支援やワー ク・ライフ・バランスの 推進に向けた取組を実施 する。	女性役職者（係長級 以上）比率	目標	単年度目標 なし	20 %		20% (2018年 度)	継続	3,198	3,198	維持	5,900	課長	0.10	人	順調	引き続き、制度の周知・活用 を通じて、職員のキャリア形成 支援やワーク・ライフ・バラ ンスの一層の推進を図っていく。 【中期目標の変更内容】 女性役職者及び女性管理職に ついて、全職員ベースから教職 員及び消防職員を除いた割合に 変更。 (目標を設定している計画が、 2019年度に改定されることに伴 うもの)
								実績	18.3 %													
							達成率	—														
							女性管理職（課長級 以上）比率	目標	単年度目標 なし	15 %		15% (2018年 度)	継続	3,198	3,198	維持	5,900	係長	0.40	人		
実績	14.8 %																					
達成率	—																					
女性役職者（係長級 以上）比率 (教職員、消防職員 を除く)	目標	単年度目標 なし			23% (2023年 度)	継続	3,198	3,198	維持	5,900	職員	0.10	人									
実績																						
達成率																						
女性管理職（課長級 以上）比率 (教職員、消防職員 を除く)	目標	単年度目標 なし			15% (2023年 度)	継続	3,198	3,198	維持	5,900	職員	0.10	人									
実績																						
達成率																						
II-3-(2)- ④ 女性の活 躍推進	11	⑧	⑩	ダイバーシティ推 進事業	女性活 躍推 進課	国における「まち・ひ と・しごと創生総合戦 略」の策定や「女性の職 業生活における活躍の推 進に関する法律」施行な ど、多様な人材を活かす ダイバーシティマネジメ ントやワーク・ライフ・ バランス（働き方改革） を推進するための取組の 加速などの動きを踏ま え、テレワークの実施や 職場単位の業務改善な ど、多様な働き方の実現 により、簡素で効率的な 組織・人員体制をもっ て、更なる市民サービ スの向上を図る。	部課長級の多面評価 「イクボス10か条を 実践できている管理 職の割合」	目標	単年度目標 なし	単年度目標 なし	90 %	95% (2023年 度)	継続	3,900	4,500	増額	8,800	課長	0.20	人	順調	テレワークの試行実施にあ たっては、実施部署を増加させ るとともに、部署単位で実施す る働き方見直し実践部署コンサル ティング等で効率的な働き方 の実現を引き続き行う。 また、イクボスの実践を図 り、男性職員も育児等に関わり やすい職場風土の醸成も引き続 き実施する。 【中期目標の変更内容】 イクボスに関する目標は、目 標数値を90%から95%に変更し た。 (目標を設定している計画が、 2019年度に改訂されることに伴 うもの)
								実績	94.0 %													
							達成率	—														
							男性職員の育児休業 等取得率	目標	単年度目標 なし	20 %		20% (2018年 度)	継続	3,900	4,500	増額	8,800	係長	0.50	人		
							実績	15.4 %														
							達成率	—														
男性職員の育児休業 取得率	目標	単年度目標 なし			30% (2022年 度)	継続	3,900	4,500	増額	8,800	職員	0.20	人									
実績																						
達成率																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
12	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩		女性輝き！推進事業	女性活躍推進課	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、企業への働きかけや管理職研修・ネットワーク形成支援、創業支援などを行う。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (2010年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	継続	9,800	9,854	維持	18,400	課長	0.60 人	順調	シンポジウムや管理職研修参加者のアンケート満足度や、ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業数が増加するよう、引き続き実施する。		
						ダイバーシティ行動宣言等登録・届出企業（累計）	597社 (2014年 度)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	1,200 社	1,200社 (2019年 度)							係長	0.70 人				
13	⑧	⑤ ⑧ ⑩		ウーマンワークカフェ北九州運営事業	女性活躍推進課	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (2010年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	継続	30,600	31,933	維持	11,200	課長	0.30 人	順調	国・県と引き続き連携し、「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることで利用者の掘り起こし及び就職決定率の向上を目指す。		
						ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標 3,300 人	3,600 人	4,000 人	4,000人 (2019年 度)							係長	0.40 人				
14	⑧	④ ⑤ ⑧ ⑩		働き方改革先進都市事業	女性活躍推進課	女性の理工系分野への関心を高めることを目的とした女子中学生向けの「理工チャレンジ」体験プログラムや、子育て女性向け就業支援等、将来にわたっての多様な働き方の実現をさらに推進する。	女性の就業率（25～44歳）	65.9% (2010年 国勢調査)	目標 単年度目標 なし	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	—	6,500	2,580	減額	10,700	課長	0.30 人	—	事業の編成を見直したため、全体としては減額となったが、引き続き女性の就業に関する実態調査の結果を踏まえ、未就業女性の就業ニーズと家庭との両立などの課題解決に向けた就業支援を実施する。 また、女子中学生向け理工系職業体験プログラムが昨年度好評だったことから、規模を拡大して実施する。		
						ウーマンワークカフェ北九州新規利用者数	—	目標 3,600 人	3,600 人	4,000 人	4,000人 (2019年 度)							係長	0.50 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要目標番号	SDGs 主要目標番号	基本計画の施策を構成する 主要事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-3-(4)- ① 平和の尊 敬への理 解の促進	15	④	④	(仮称) 平和資料 館建設事業	総務 課	戦後71年が経過し、悲 惨な戦争の記憶の風化が 懸念され、戦争の記憶を 後世に伝えることが重要 となっている。改めて、 戦争の悲惨さを市民に伝 え、平和の大切さ、命の 尊さを考えるきっかけと するため、新たに「(仮 称)平和資料館」の建設 に向けた取組を行う。	(仮称) 平和資料館 の建設	—	目標	—	建築工 事等設計 業務の着 手	建築工 事・展示 製作等の 実施	(仮称) 平和資料館 の建設	継続	52,400	45,000	減額	29,000	課長 1.00 人	順調	2018年度に策定した基本・実 施設計に基づき、施設整備を進 めるとともに、2019年度は有識 者等の専門的な見地からの意見 も聴取し、展示資料の詳細な検 討の他、資料館の自主事業・運 営体制等についても具体的な検 討を行う。	順調	戦後70年余りが経過し、戦争 を知らない世代の方がほとんど となるなか、悲惨な戦争の記憶 が風化することへの懸念があ り、本市で起きた戦争の惨禍や 平和の大切さを伝える必要があ ることから、「(仮称)平和資料 館」の建設に向けた取組を 行う。
	16	④	④	非核・平和推進事 業	総務 課	本市の平和に対する基 本的姿勢を示す「北九州 市非核平和都市宣言」に 込められた平和への願い を市民に伝えるため、ま た、悲惨な戦争の記憶を 風化させることなく次の 世代に伝えるため、事業 を実施するもの。	市民が平和の尊さを 理解し、共有してい くこと	—	目標	—	—	—	市民が平和の尊さを 理解する こと	継続	10,000	10,000	維持	6,400	課長 0.10 人				
III-1-(3)- ④ 高度情報 社会への 対応	17	⑩	⑩	全庁GIS (統合型 GIS) 構築運用事業	情報 政策 課	庁内の各所管課が個別 に導入しているGIS (地 理情報システム) を集約 することで、庁内全体の GIS運用経費を削減する とともに、庁内で情報を 共有することにより、業 務の効率化を図る。 また、共有したGIS情 報のうち、公開可能な ものは積極的に市民に公開 することにより、市民 サービスの向上を図る。	全庁GISの安定運用	安定稼働 (H26年 度)	目標	安定運用	安定運用	安定運用	継続的なシス テム安定稼働	継続	32,033	32,376	維持	16,050	課長 0.20 人	順調	継続して庁内のGISの集約を図 り、GIS情報の庁内共有による業 務の効率化に取り組むととも に、更なる利用者増を目指し て、GIS研修会を実施する。	順調	全庁GISは、庁内での利用増加 に伴うデータ作成・更新作業を 確実に行うとともに、システム 障害に対応する体制の整備や市 民への周知活動に継続して取組 む。 官民データ活用推進について は、国の動向等を踏まえ、手続 きオンライン化の推進やオープ ンデータ利活用推進に向けた取 組みを進めていく。
	18	⑩	⑩	官民データ活用推 進事業	情報 政策 課	2016年12月官民デー タ活用推進計画基本法施 行、2017年12月北九州市 官民データ活用推進基本 条例制定を受け、官民 データ活用推進のための 計画を策定し、その計画 の実施 (計画見直し含 む)、進捗管理等を行 う。	全庁GISに搭載する 主題図数	庁内向け GIS : 60 地域情報 ポータル サイト : 98 (H26年 度)	目標	庁内向けGIS : 100 地域情報ポータル サイト : 300	庁内向けGIS : 110 地域情報ポータル サイト : 320	庁内向けGIS : 120 地域情報ポータル サイト : 330	2019年度 庁内向けGIS 主題図数 : 120 地域情報ポータル 向け 主題図 : 330	—	2,000	4,200	増額	15,550	係長 0.40 人				
						オープンデータサイ トアクセス数 (月平 均)	791件 (2017年 度)	目標	3,000 件	4,500 件	5,000件 (2021年度)												
						電子申請件数	501,000件 (2017年 度)	目標	505,000件	516,000 件	531,000件 (2021年度)												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
Ⅲ-3-(3)- ① 市民参画 と協働の ための仕 組みづく り	19	⑩	⑩	北九州市自治基本 条例推進事業	総務 課	本市の自治の基本的 ルールを定めた「北九州 市自治基本条例」（2010 年10月1日施行）の意義 や理念などを多くの市民 に理解してもらうため、 周知等を行う。また、情 報共有や住民参画の視点 から業務を行い、条例の 目指すまちづくりがで きるよう、職員向けの研 修を行う。	市民が主役の自治 (市民自治)の確立	—	目標 —	—	—	市民自治 の確立	継続	1,049	2,718	増額	4,650	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.20 人	順調	5年に一度行うことと定めら れている「条例に基づいた市政運 営の評価検討」を行うととも に、引き続き、市民向けの周知 活動や職員に対する研修等を実 施する。また、条例の認知度が 低い若い世代への周知を図るた め、大学等への出前講演などに 取り組む。	順調	市民が主役の自治（市民自 治）の確立に向け、自治基本 条例に対する理解を深め、市民 の市政への参画を推進していく ため、今後も条例の周知活動を 継続実施していく。			
Ⅲ-3-(3)- ③ 企業の地 域活動へ の参画促 進	20	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ワーク・ライフ・ バランス推進事業	女性 活躍 推進 課	誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活力 ある豊かな社会を実現す るため、「北九州市女性 活躍・ワークライフバラ ンス推進協議会」を中心 に、企業等の取組み支援 などを行うとともに、企 業や地域での様々な活動 と連携しながら仕事と生 活の調和（ワーク・ライ フ・バランス）の推進を 図る。	子育て中の労働者で 仕事と生活の両立が 図られていると感じ る人の割合 ※「現状値」及び 「中期目標」は、 「元気発進！子ども プラン（第2次計 画）（2015～2019年 度）」掲載内容	41.0% (2013年度)	目標 単年度目標 なし	—	2013年度の 水準より増 加	2013年度 (41.0%)の 水準より増加 (2019年度)	継続	9,193	8,812	維持	10,700	課長 0.30 人 係長 0.50 人 職員 0.30 人	順調	北九州市女性活躍・ワークラ イフバランス表彰の実施やワー ク・ライフ・バランス推進に関 する企業へのアドバイザー等の 派遣、各種セミナーの開催等に より、子育て中の労働者で仕事 と生活の両立が図られていると 感じる人の割合が、上昇するよ うに継続的に実施する。	順調	2017年8月に設立した「北九州 イクボス同盟」を中心に、市内 企業等へイクボスを推進し、子 育て中の労働者で仕事と生活の 両立が図られていると感じる人 の割合が、今後もさらに上昇し ていくよう、各種支援を通じ て、企業の「働き方の見直し」 にかかると意識改革を一層推進 していく。			
Ⅳ-3-(2)- ① 若年者の 就業意識 の啓発や 能力開 発・就職 活動への 支援	21	⑧	④ ⑤ ⑧ ⑩	働き方改革先進都 市事業	女性 活躍 推進 課	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理工チャレンジ」体験 プログラムや、子育て女 性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	女性の就業率（25～ 44歳）	65.9% (2010年 国勢調 査)	目標 —	—	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	—	6,500	2,580	減額	10,700	課長 0.30 人 係長 0.50 人 職員 0.30 人	—	事業の編成を見直したため、 全体としては減額となったが、 引き続き女性の就業に関する実 態調査の結果を踏まえ、未就業 女性の就業ニーズと家庭との両 立などの課題解決に向けた就業 支援を実施する。 また、女子中学生向け理工系 職業体験プログラムが昨年度好 評だったことから、規模を拡大 して実施する。	—	女性の就業に関する実態調査 の結果を踏まえ、未就業女性の 就業ニーズと家庭との両立など の課題解決に向け、求人側、求 職側双方に向けた就業支援等 を実施する。 また、女子生徒向け理工系職 業体験プログラム実施等、将来 にわたっての多様な働き方の実 現を推進する。		
						ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	—	—	—	—	3,600 人	4,000 人	4,000人 (2019年 度)												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
IV-3-(2)- ② 女性が活躍する産 業都市づくりの推 進	22	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑰	男女共同参画セン ター及び勤労婦人 センター管理運営 事業	男女共 同参画 推進 課	性別による固定的役割 分担意識に肯定的 な人の割合	26.7% (2017年 度)	目標 2011年度 (38.7%)の 水準より減少	実績 26.7 %	2011年度 (38.7%)の 水準より減少	単年度目標 なし	2017年度 (26.7%)の水準より減少 (2022年度)	継続	330,163	330,272	維持	8,950	課長	0.30	人	順調	男女共同参画社会の形成の推 進に向けたイベントや講座の開 催、就業・キャリアアップ支援、 相談などの事業を実施する。 講座等の実施に当たっては、 より多くの参加に結びつくよう、 内容等の見直しや、広報・ 周知方法の工夫を行う。	【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が 2019年度に改訂されることに伴 い、中期目標の基準年度を2011 年度から2017年度に変更する。
						※中期目標改訂	69.7% (2017年 度)	目標 —	実績 69.7 %	H30年度 (2018) 80 %	R1年度 (2019) 単年度目標 なし												
	23	⑤	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推進事 業	女性活 躍推 進 課	女性の就業率 (25～ 44歳)	65.9% (2010年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし	70% (2019年 度)	継続	9,800	9,854	維持	18,400	課長	0.60	人	順調	シンポジウムや管理職研修参 加者のアンケート満足度や、ダ イバーシティ行動宣言等登録・ 届出企業数が増加するよう、引 き続き実施する。
						ダイバーシティ行動 宣言等登録・届出企 業 (累計)	597社 (2014年 度)	目標 単年度目標 なし	実績 1,106 社	単年度目標 なし	単年度目標 なし	単年度目標 なし											
24	⑧	⑤ ⑧ ⑩	ウーマンワークカ フェ北九州運営事 業	女性活 躍推 進 課	女性の就職・キャリア アップ・創業などをワ ンストップで支援す る「ウーマンワークカ フェ北九州」を運営す る。	65.9% (2010年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	継続	30,600	31,933	維持	11,200	課長	0.30	人	順調	国・県と引き続き連携し、 「ウーマンワークカフェ北九 州」の周知・集客を図ることで 利用者の掘り起こし及び就職決 定率の向上を目指す。		
					ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	—	目標 3,300 人	実績 3,276 人	単年度目標 なし	単年度目標 なし												70 %	4,000人 (2019年 度)
25	⑧	④ ⑤ ⑧ ⑩	働き方改革先進都 市事業	女性活 躍推 進 課	女性の理工系分野への 関心を高めることを目 的とした女子中学生向け の「理工チャレンジ」体験 プログラムや、子育て女 性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	65.9% (2010年 国勢調 査)	目標 単年度目標 なし	実績 —	単年度目標 なし	70 %	70% (2019年 度)	—	6,500	2,580	減額	10,700	課長	0.30	人	—	事業の編成を見直したため、 全体としては減額となったが、 引き続き女性の就業に関する実 態調査の結果を踏まえ、未就業 女性の就業ニーズと家庭との両 立などの課題解決に向けた就業 支援を実施する。 また、女子中学生向け理工系 職業体験プログラムが昨年度好 評だったことから、規模を拡大 して実施する。		
					ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	—	目標 3,600 人	実績 —	単年度目標 なし	単年度目標 なし												70 %	4,000人 (2019年 度)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数			
VII-1-(3)- ③ 社会制度 や社会問 題などに 関する国 際協力の 推進	26	⑤	④ ⑤ ⑩	(公財) アジア女 性交流・研究 フォーラム事業	男女 共同 参画 推進 課	「国際的な最新情報の 収集・発信」「成果の地 域還元」「フェイスto フェイスの国際交流」 「あらゆる分野での女性 のエンパワーメント」 「次世代育成」「情報提 供の充実」を目指し、 様々な事業を実施する、 (公財) アジア女性交流・ 研究フォーラムの活動を 支援する。	男女共同参画社会と いう言葉の認知度	目標	—	80 %		80% (2018年 度)	継続	48,000	42,000	減額	4,050	課長	0.20	順調	アジア女性会議や市民向けの 研究報告会、セミナーなどの開 催を通じて、男女共同参画に関 する意識の醸成に努める。	順調	本市の男女共同参画社会の形 成の推進に向け、2016年度に着 手したフォーラムのあり方等の 検討内容を踏まえ、事業の見直 し等を行う。			
								実績	68.9% (2011年 度)	69.7 %									2017年度 (26.7%)の水準より減少 (2022年度)							
								達成率	—															係長	0.10	人
								目標	2011年度 (38.7%)の 水準より減少	2011年度 (38.7%) の水準より 減少	単年度目標 なし															
性別による固定的役 割分担意識に肯定的 な人の割合	26.7% (2017年 度)	26.7 %				職員	0.10	人																		
※指標追加		131.0 %																								